

— Driving Value Creation —
**2020年3月期決算 及び
中期経営計画の総括**



MITSUI & CO.

2020年5月1日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

- 1** 2020年3月期決算 及び
中期経営計画の総括
- 2** 2020年3月期経営成績の詳細
- 3** 補足資料
- 4** セグメント別データ

1 2020年3月期決算 及び 中期経営計画の総括

経営成績サマリー 2020年3月期年間実績

- 基礎営業キャッシュ・フローは豪州鉄鉱石事業の貢献等あり上振れ、キャッシュ創出力は堅持
- 当期利益は第4四半期における石油・ガス開発関連資産等の減損損失計上を主因とし、従来予想未達
- 新型コロナウイルス感染拡大・油価下落の影響は2021年3月期以降、より広範囲に及ぶ見込み

	2019年3月期 年間実績	2020年3月期 年間実績	増減	2020年3月期 従来予想 (2020年2月公表)
当期利益	4,142億円	3,915億円	▲227億円	4,500億円
基礎営業キャッシュ・フロー*1	5,705億円	6,219億円	+514億円	6,000億円
フリー・キャッシュ・フロー*2	▲1,268億円	4,509億円	+5,777億円	—
ROE	10.1%	9.7%	▲0.4%	—

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー (20/3期: 5,264億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (20/3期: ▲955億円)

*2. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

19/3期より、従来運転資本と認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、

当該要素 (キャッシュ・イン175億円、キャッシュ・アウト355億円) は除外して計算

年間配当金は一株当たり80円 (中間配当40円を含む) を予定 (従来予想通り)
第4四半期に500億円の自社株買いを公表、当期の株主還元総額は約2,000億円

重点施策 強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化

中核分野

- 【金属資源・エネルギー】 堅調な豪州鉄鉱石事業を主因に基礎営業キャッシュ・フローは従来予想を上振れ
一方、石油・ガス開発関連資産等の減損により、当期利益は従来予想に未達
- 【機械・インフラ】 第4四半期における一部資産の減損により当期利益は従来予想に未達
- 【化学品】 引き続き主力商品の市況低迷等あり伸び悩んではいるが、従来予想を達成

(単位：億円)

当期利益

	年間実績	従来予想*	進捗率
金属資源・エネルギー	2,430	2,850	85%
機械・インフラ	875	950	92%
化学品	223	200	112%
中核分野 合計	3,528	4,000	88%
全社 合計	3,915	4,500	87%

基礎営業キャッシュ・フロー

	年間実績	従来予想*	進捗率
	4,658	4,450	105%
	952	950	100%
	383	400	96%
中核分野 合計	5,993	5,800	103%
全社 合計	6,219	6,000	104%

* 2020年2月公表

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

キャッシュ・フロー・アロケーション実績（中経3年間累計）

- 堅固なキャッシュ創出力を背景に、成長のための投資と株主還元バランスよく配分
- 3年間累計での株主還元後フリー・キャッシュ・フロー黒字化を達成

(単位：億円)

		中経3年間 累計見通し (2020年2月公表)	18/3~19/3期 累計 (a)	20/3期 実績 (b)	中経3年間 累計実績 (a) + (b)
キャッシュ・ イン	基礎営業キャッシュ・フロー*1...①	18,400*2	12,400	6,200*2	18,600*2
	資産リサイクル...②	7,500	5,300	2,500	7,800
キャッシュ・ アウト	投融資...③	▲20,000	▲14,900	▲4,200	▲19,100
	うち、中核分野 (含む成長分野との重複分)	-	▲8,700 (▲1,700)	▲2,850 (▲200)	▲11,550 (▲1,900)
	うち、成長分野 (含む中核分野との重複分)	-	▲6,700 (▲1,700)	▲900 (▲200)	▲7,600 (▲1,900)
	うち、その他	-	▲1,200	▲650	▲1,850
	株主還元 (追加還元含む)...④	▲5,000	▲3,100	▲2,000*3	▲5,100
株主還元後のフリー・キャッシュ・フロー*4 ...① + ② + ③ + ④		900*2	▲300	2,500*2	2,200*2

*1. 営業活動によるキャッシュ・フロー - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー

*2. IFRS第16号「リース」適用に伴う営業キャッシュ・フローの増加分約500億円を含む

*3. 自己株式の取得約600億円を含む

*4. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

19/3期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算
COPYRIGHT © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

MITSUI & CO.

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

バランスシート

(単位：兆円)

19/3

流動資産 4.0	その他負債 2.8
	長短債務*1 4.6 (3.6)
非流動資産 7.9	株主資本*2 合計 4.3
	0.2

非支配持分

総資産	11.9兆円
株主資本	4.3兆円
Net DER	0.84倍*3

20/3

流動資産 4.1	その他負債 2.8
	長短債務*1 4.9 (3.5)
非流動資産 7.7	株主資本*2 合計 3.8
	0.3

非支配持分

総資産	11.8兆円
株主資本	3.8兆円
Net DER	0.91倍*3

主な残高・増減

有利子負債*3 4.6兆円 (19/3末比：▲78億円)
 ネット有利子負債*4 3.5兆円 (19/3末比：▲1,053億円)

株主資本*2 3.8兆円 (19/3末比：▲4,455億円)

- ・ 当期利益： +3,915億円
- ・ 外貨換算調整勘定： ▲3,016億円
- ・ FVTOCIの金融資産： ▲3,490億円
- ・ 配当金の支払： ▲1,391億円
- ・ 自己株式の取得： ▲579億円
- ・ その他： +106億円

*1. 長短債務のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を株主資本と表記

*3. 20/3期より、有利子負債は長短債務からリース負債を除外して計算
 尚、これに伴い19/3期末もRestate

*4. ネット有利子負債は*3.有利子負債から現金・現金同等物並びに定期預金を
 除外して計算



中期経営計画の総括 定量実績サマリー

- 着実なキャッシュ創出力の進展、資本効率改善により、基礎営業キャッシュ・フロー及びROEは概ね目標水準を達成
- 20年3月期のエネルギーセグメントを中心とする減損損失計上と、非資源分野の利益水準が中経目標を達成できなかったことから、当期利益は目標水準に未達

当期利益

3,915億円
(2020年3月期)

4,400億円
(2017年5月公表)

基礎営業
キャッシュ・フロー

6,219億円
(2020年3月期)

6,300億円
(2017年5月公表)

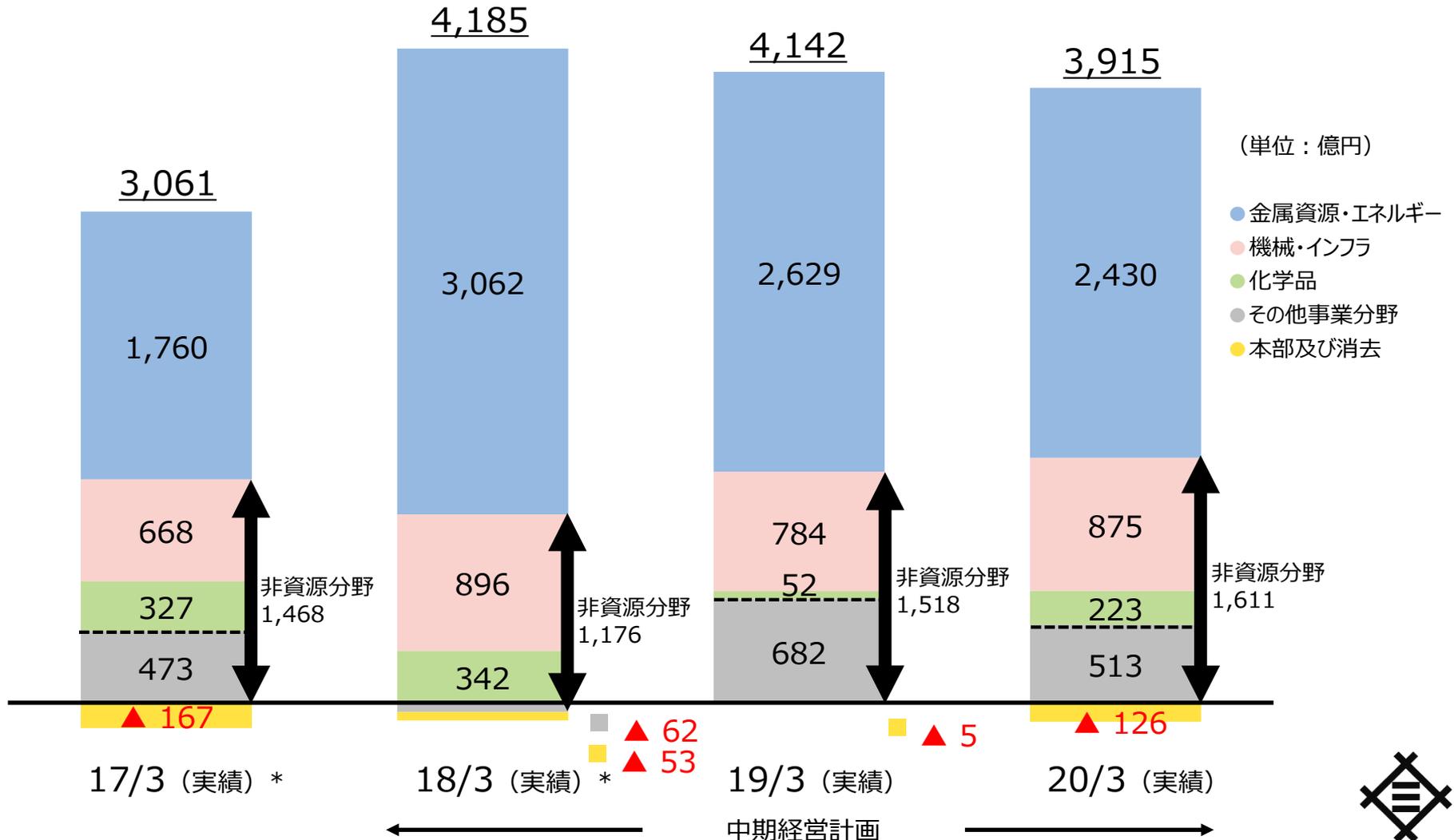
ROE

9.7%
(2020年3月末)

10%
(2017年5月公表)

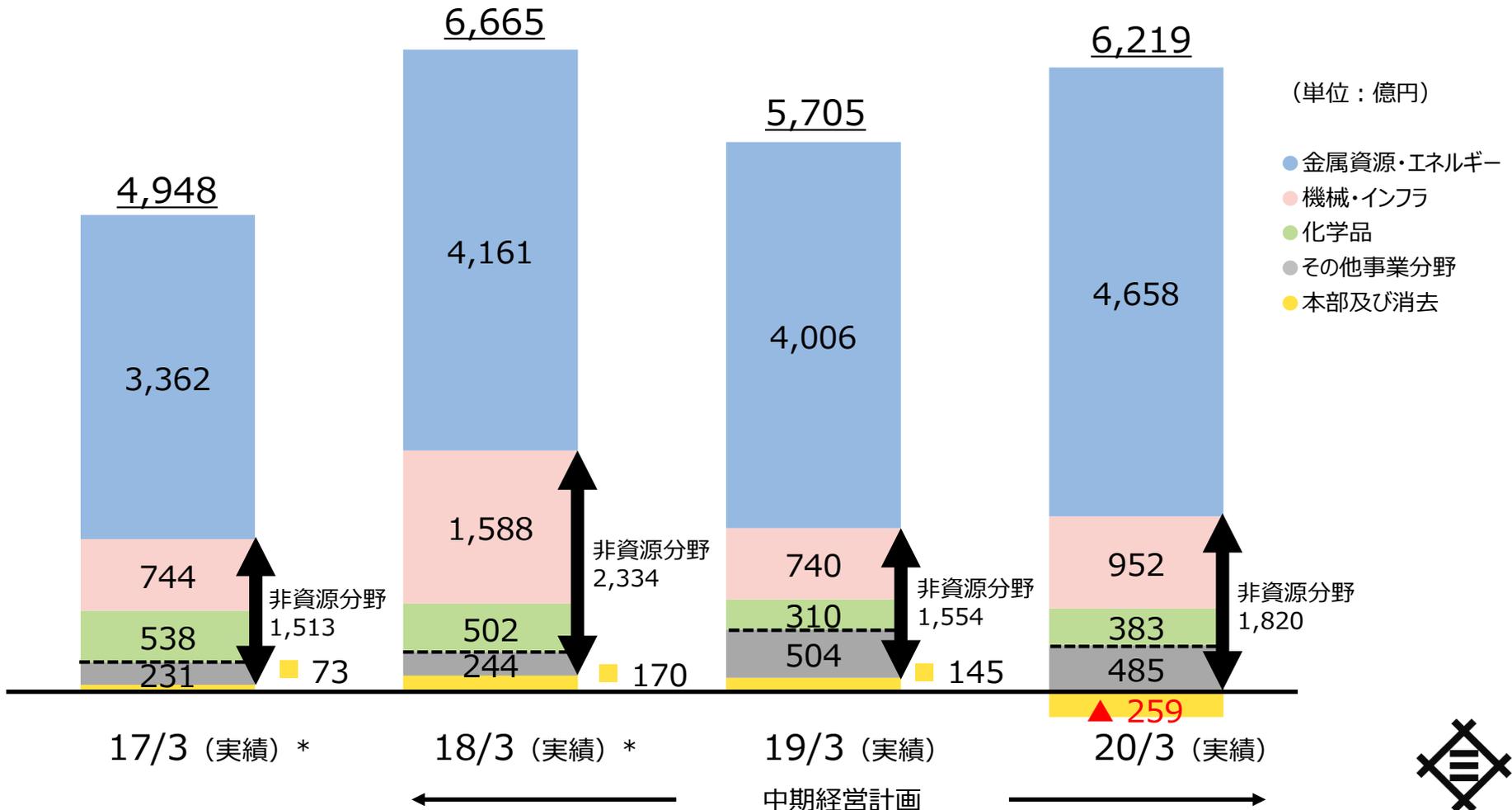
定量実績 当期利益

- 中経の目標水準（2,000億円）には届かなかったものの、収益基盤の拡充と積極的な資産リサイクルによる投資の果実化・ポートフォリオ最適化により、着実に非資源分野の利益創出力を拡充



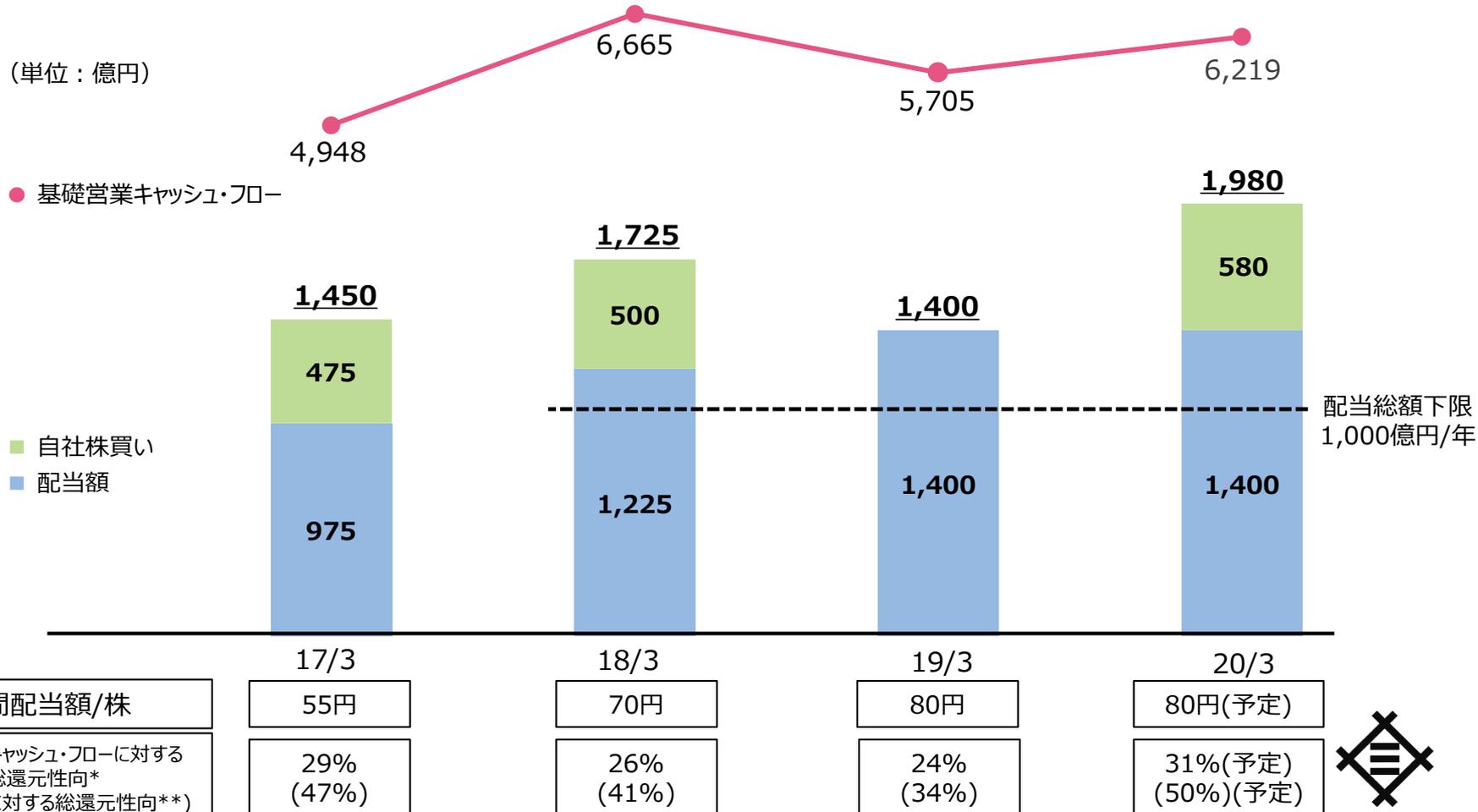
定量実績 基礎営業キャッシュ・フロー

- 非資源分野のキャッシュ創出は中経の目標水準（2,300億円）に届かなかったものの、金属資源・エネルギー領域を中心にキャッシュ創出力を拡充



株主還元方針

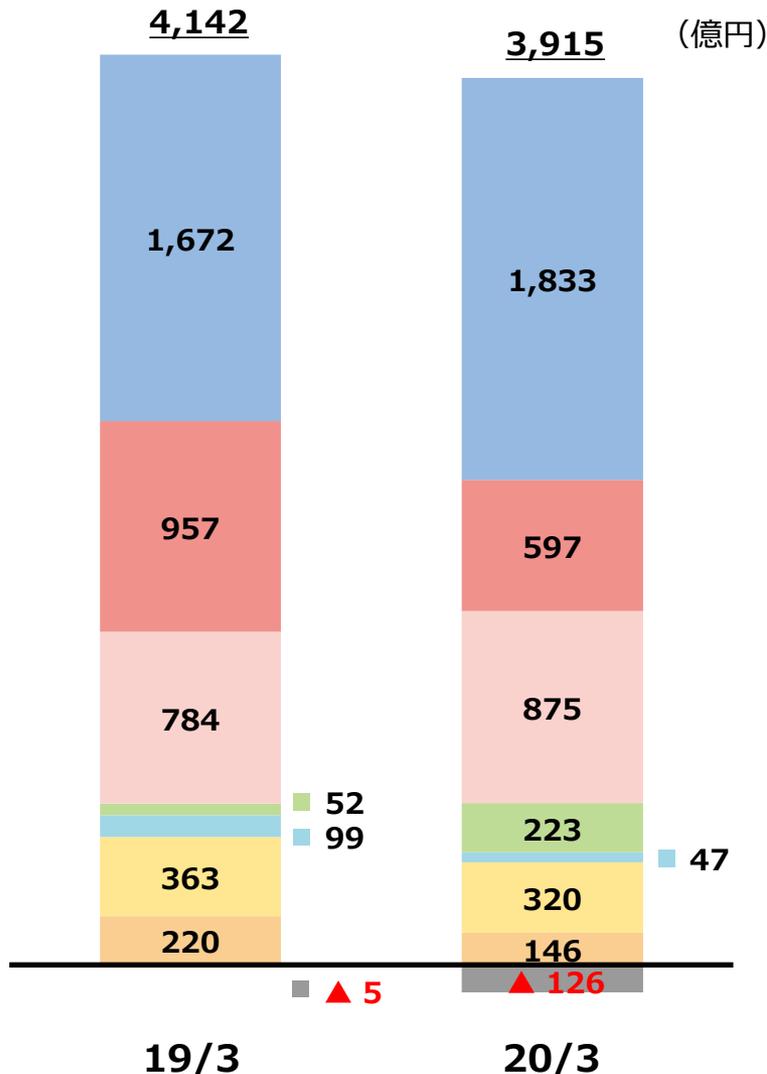
- 年間配当金は一株当たり80円（従来予想から変更なし）
- 中経3年間に於ける株主還元総額は約5,100億円、基礎営業キャッシュ・フローに対する総還元性向は約27%



2 2020年3月期経営成績の詳細

当期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 当期利益 3,915億円、前期比▲227億円



主な増減要因

- **金属資源 1,833億円 (前期比: +161億円)**
 - ・豪州鉄鉱石事業における鉄鉱石販売価格・数量の上昇
 - ・石炭販売価格の下落及びコスト増による豪州石炭事業の減益
 - ・モザンビーク石炭・インフラ事業における減損
- **エネルギー 597億円 (前期比: ▲360億円)**
 - ・原油・ガス価格の下落及び石油・ガス開発関連資産等の減損
- **機械・インフラ 875億円 (前期比: +91億円)**
 - ・加C2C売却、ガス配給事業及び自動車関連事業の収益貢献
 - ・海外鉄道関連事業及びオフショア支援船事業における減損
- **化学品 223億円 (前期比: +171億円)**
 - ・米国ターミナル事業における損失の反動
 - ・景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
- **鉄鋼製品 47億円 (前期比: ▲52億円)**
 - ・景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
 - ・前年同期における関係会社の土地売却益の反動
- **生活産業 320億円 (前期比: ▲43億円)**
 - ・リクルート株式の一部売却による法人所得税の負担減
 - ・コロンビアアジアの持分売却益
 - ・XINGUにおける固定資産減損
 - ・前年同期に計上したマルチグレイン撤退に係る引当金の取崩益反動
 - ・前年同期に計上したIHHみなし売却益反動
- **次世代・機能推進 146億円 (前期比: ▲74億円)**
 - ・FVTPLの評価損
- **その他 ▲126億円 (前年同期比: ▲121億円)**
 - ・各セグメントに賦課しない経費・利息・税金等の負担

基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー 6,219億円、前期比+514億円



主な増減要因

- **金属資源 2,448億円 (前期比: +633億円)**
 - ・豪州鉄鉱石事業における鉄鉱石販売価格の上昇
 - ・石炭販売価格の下落及びコスト増による豪州石炭事業の減益
 - ・Vale配当・資本利子の前期反動
- **エネルギー 2,210億円 (前期比: +19億円)**
- **機械・インフラ 952億円 (前期比: +212億円)**
 - ・プロジェクト開発報酬、リース会計基準変更に伴う影響
- **化学品 383億円 (前期比: +73億円)**
 - ・米国ターミナル事業における損失の反動
 - ・景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
- **鉄鋼製品 26億円 (前期比: ▲33億円)**
 - ・景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
- **生活産業 373億円 (前期比: +126億円)**
 - ・リース会計基準変更に伴う影響
- **次世代・機能推進 86億円 (前期比: ▲112億円)**
 - ・FVTPLの評価損
- **その他 ▲259億円 (前期比: ▲404億円)**
 - ・企業年金掛金拠出

当期利益 要素別増減要因

(単位：億円)

4,142

基礎収益力

約▲310

資源コスト・数量

▲20

資産リサイクル

+460

市況・為替

+160

評価性/特殊要因

▲520

3,915

基礎収益力

資源コスト・数量

資産リサイクル

市況・為替

評価性/特殊要因

<主な増益要因>

・METS +64
・ガス配給事業 +48
・IHH +30

・カナダ自動車関連
・次世代・機能推進

<主な減益要因>

・FVTPL ▲150
前期反動 ▲80
当期 ▲70

・化学品 ▲150
・食料/流通 ▲70
・鉄鋼製品 ▲60
・コーポレート調整 ▲60

・FPSO ▲54

・コスト

金属資源 ▲100
鉄鉱石 ▲70
石炭 ▲30
銅 他 ▲40
エネルギー 0

・数量

金属資源 +80
鉄鉱石 +100
石炭 +80
銅 他 +20
エネルギー 0
エネルギー ▲20

・前期反動

▲200
・当期合計 +660
コロンビアアジア持分売却 +130
リクルート株式一部売却 +125
総合メディカル売却 +87
加C2C・星不動産 他

・金属資源

+310
鉄鉱石 +530
石炭 ▲190
銅 他 ▲30

・原油・ガス

▲210

・為替

+60
(連結取込 ▲190)
(経常為替 +250)

・前期反動

+230
・当期合計 ▲750
モザンビーク石炭・
インフラ事業 ▲221
Eagle Ford ▲180
GED ▲138
Tempa Rossa ▲125
Xingu ▲93
Accountable ▲64
海外鉄道事業 ▲37
Kaikias ▲32
MEPMOZ +132
他

為替明細

・金属資源 : +50 (連結取込 ▲190、経常為替 +240)
・エネルギー : +40 (連結取込 +30、経常為替 +10)
・その他 : ▲30 (連結取込 ▲30、経常為替 0)

19/3

20/3



重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

資産リサイクル・投融資実績*1（2020年3月期実績）

- 中核分野に68%、成長分野に22%を配分

	金額	主な案件*3
資産リサイクル	2,500億円	【生活産業】リクルート株式の一部売却、コロンビアアジアの持分売却、総合メディカルホールディングスの売却 【機械・インフラ】カナダC2C風力・太陽光発電事業の売却 【次世代・機能推進】中国物流施設開発事業の売却
投融資*2	▲4,200億円	主な案件*3
中核分野 (含む成長分野との重複200億円)	▲2,850億円	【金属資源】豪州鉄鉱石・石炭事業 【エネルギー】豪州石油開発、ロシアArctic LNG2への出資、モザンビークArea1への出資、タイ沖石油開発 【機械・インフラ】中東IPP事業向け融資、米国分散発電事業
成長分野 (含む中核分野との重複200億円)	▲900億円	【生活産業】ベトナム海老生産加工事業会社への出資、タイ製糖事業
その他	▲650億円	大手町一丁目2番地区の複合開発事業

*1. 19/3期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

*2. 定期預金の増減は除く

*3. 青字は、第4四半期に新たに資産リサイクルにより資金獲得、または投融資を実行した案件（累積ベースで第4四半期に閾値を超えたもの含む）

各案件の金額については4.セグメント別データをご参照ください

3 補足資料

金属資源：生産量実績および主な事業一覧

生産量実績	2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.8	15.3	15.8	13.8	59.7	14.1	14.4	15.1	14.2	57.8
豪州鉄鉱石	10.3	10.0	10.0	8.2	38.5	10.0	10.8	10.3	9.8	40.9
Vale*1	4.5	5.3	5.8	5.6	21.2	4.1	3.6	4.8	4.4	16.9
石炭*2 (百万トン)	3.1	3.5	3.7	3.5	13.8	3.3	3.4	3.6	3.3	13.6
MCH	2.1	2.1	2.1	2.0	8.3	2.1	2.1	2.1	2.0	8.3
BMC*1	0.5	0.6	0.5	0.5	2.1	0.5	0.6	0.5	0.4	2.0
豪州原料炭	2.0	2.0	2.0	1.9	7.9	2.4	2.3	2.3	2.1	9.1
豪州一般炭	0.6	0.7	0.6	0.6	2.5	0.2	0.4	0.3	0.3	1.2
Moatize*1	0.3	0.4	0.5	0.4	1.6	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
銅*1,2 (千トン)	36.5	35.8	38.3	42.4	153.0	36.3	38.0	40.0*3	39.3	153.6

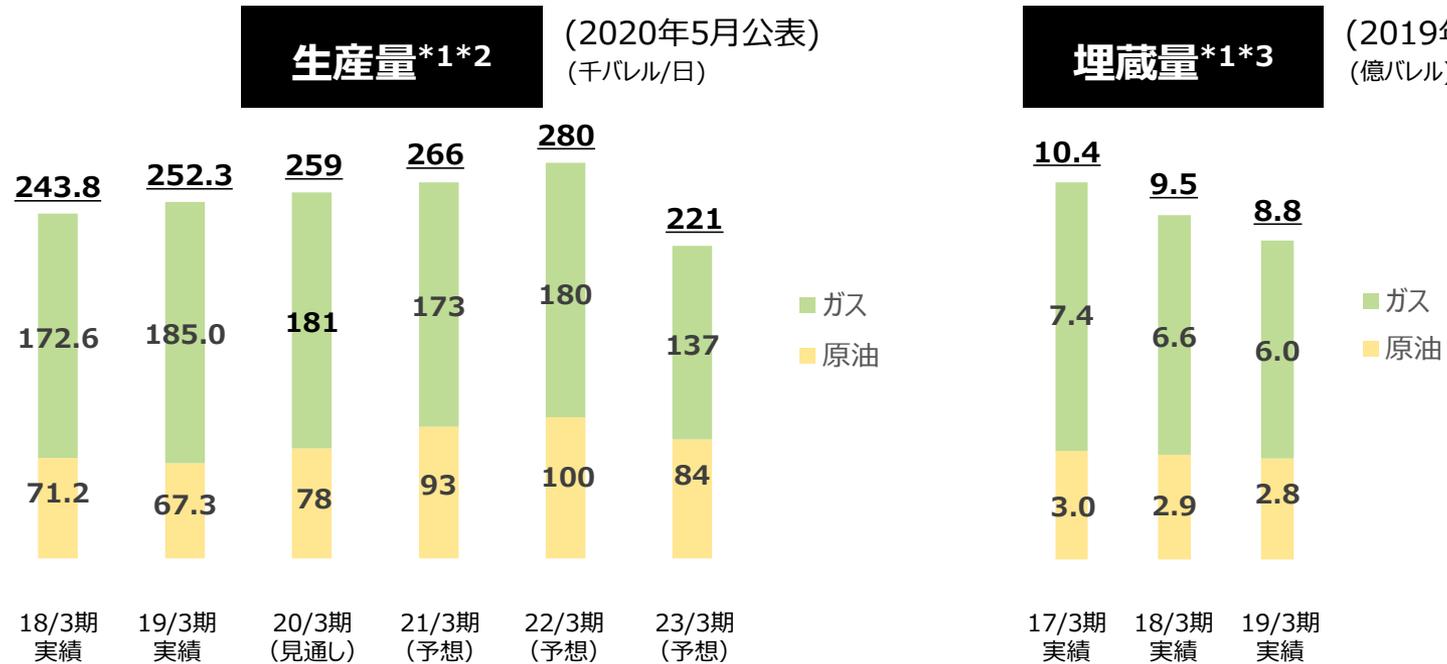
*1. Vale, BMC, Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績 *2. Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%, 2019/3 4Q以降:5.6%)等を含む *3. 2020年5月修正 (3Q:39.6→40.0)

主な事業一覧

商品	案件名*1	所在国	2020年3月期 持分生産量	主なパートナー	当社出資比率*4	当社収益認識
鉄鉱石	Robe River	豪州	21.5百万トン	Rio Tinto	33.00%	連結(一部持分法)
鉄鉱石	Mt. Newman / Yandi / Goldsworthy / Jimblebar	豪州	19.4百万トン	BHP	7.00%	連結(一部配当)
鉄鉱石	Vale	伯国	16.9百万トン*2	Vale	5.59%	配当
石炭	South Walker Creek / Poitrel	豪州	2.0百万トン*2	BHP	20.00%	持分法
石炭	Kestrel	豪州	1.4百万トン*2	EMR / Adaro	20.00%	連結
石炭	Moranbah North / Grosvenor*5 / Capcoal / Dawson	豪州	6.9百万トン	Anglo American	Various	連結
石炭	Moatize / Nacala	モザンビーク	1.2百万トン*2	Vale	Moatize : 約15% Nacala : 約50%	Moatize : 配当 Nacala : 持分法
銅	Collahuasi	チリ	62.4千トン*2	Anglo American Glencore	11.03%	持分法
銅	Anglo American Sur	チリ	37.0千トン*2	Anglo American Codelco	9.50%	持分法
銅	Caserones	チリ	33.0千トン*2	JX金属 三井金属	22.63%	その他
ニッケル	Coral Bay	フィリピン	3.5千トン*3	住友金属鉱山	18.00%	持分法
ニッケル	Taganito	フィリピン	4.7千トン*3	住友金属鉱山	15.00%	配当

*1. JV名、企業名、パートナー社名を含む *2. 2019年1-12月の実績 *3. 生産能力ベース *4. 2020年3月末時点 *5. 21/3月期取得予定の為、数量に含まず

エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



*1. 石油換算
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

*2. 一部プロジェクトでは当社持分販売量を適用

*3. 当社独自の基準による

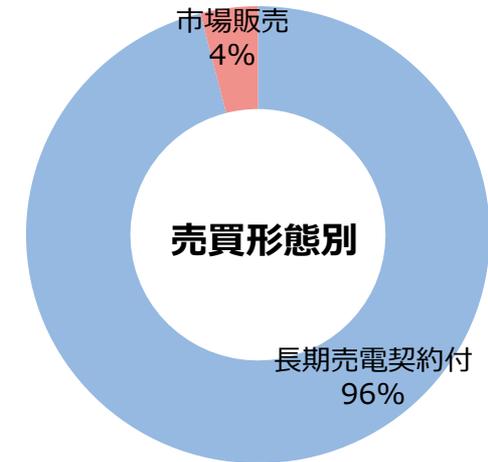
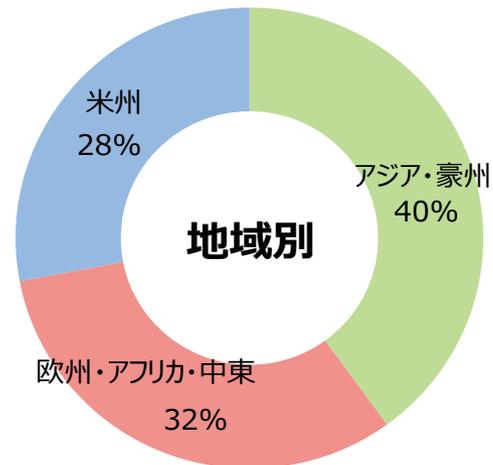
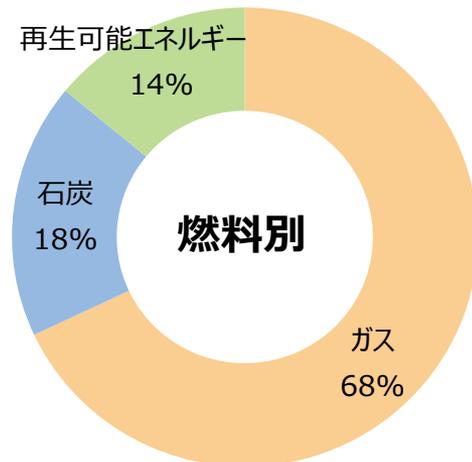
エネルギー：主な事業一覧（生産中アセットのみ）

商品	プロジェクト名	株主構成/権益保有者 *: オペレーター、青：当社参画Entity	LNG:生産能力 E&P:生産実績(19/3期実績) *20/3期実績は1Q時Update予定	決算期	当社 収益認識
LNG	アバジ	*ADNOC(70%), 三井物産(15%), BP(10%), Total(5%)	LNG:560万トン/年	NA	受取配当金
LNG	カタールガス1	*QP(65%), Total(10%), EM(10%), MILNED(7.5%), 丸紅(7.5%)	LNG:960万トン/年	3月	受取配当金
LNG	カタールガス3	*QP(68.5%), Conoco Phillips(30%), 三井物産(1.5%)	LNG:780万トン/年	3月	受取配当金
LNG	オマーン	*MOG(51%), Shell(30%), 三井物産(2.77%), 他	LNG:710万トン/年	NA	受取配当金
LNG	赤道ギニア	*Marathon(60%), Sonagas(25%), 三井物産(8.5%), 丸紅(6.5%)	LNG:370万トン/年	NA	受取配当金
LNG	ザリンII	*Gazprom(50%+1株), Shell(27.5%-1株), 三井物産(12.5%), 三菱商事(10%)	LNG:960万トン/年	12月	受取配当金
LNG	North West Shelf (NWS)	*Woodside, MIMI [三井物産/三菱商事=50:50], Shell, BP, BHP, Chevron(各16.7%)	LNG:1,690万トン/年 LPG:46万トン/年 原油/コンテナ:97千BD	12月	持分法損益
LNG	タンガー	*BP(40.2%), KI Berau[三菱商事/INPEX=56:44](16.3%), KG Berau [JOGMEC/三井物産/三菱商事/INPEX/JX=49.2:20.1:16.5:14.2](8.6%), KG Wiriagar[三井物産](1.4%), 他	LNG:760万トン/年 原油/コンテナ:6千BD	12月	持分法損益/ 売上総利益
LNG	キヤロン	*Sempra(50.2%), 三井物産, Total, [三菱商事/NYK](各16.6%)	LNG:1,200万トン/年	12月	持分法損益
E&P	MOECO/タイ沖	*Chevron, *PTTEP, MOECO(17.2%)	ガス/原油/コンテナ:452千BD	3月	売上総利益/持分法 損益/受取配当金
E&P	MOEX North America/Kaikias	*Shell(80%), MOEX NA(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block9	*Occidental(50%), OCEP(45%), MEPME(5%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block27	*Occidental(65%), MEPME(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block3&4	*CCED(50%), Tethys(30%), MEPME(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPUK/Alba	*Chevron(23.4%), MEPUK(13.3%), 他	原油:12千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Greater Enfield	*Woodside(60%), MEPAU(40%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Kipper	*EM(32.5%), BHP(32.5%), MEPAU(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU&AWE/Casino, Henry, Netherby	*Cooper(50%), AWE(25%), MEPAU(25%)	ガス/コンテナ:9千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Meridian	*WestSide(51%), MEPAU(49%)	ガス:6千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPTX/Eagle Ford	*Sanchez(25%), Blackstone(25%), KNOC(25%), Venado(12.5%), MEPTX(12.5%)	ガス/コンテナ/NGL:130千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPUSA/Marcellus	*Chesapeake(32.5%), ALTA(32.5%), Equinor(15.5%), MEPUSA(12%), 他	ガス:343千BD	12月	売上総利益

機械・インフラ：発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**11.1GW**
（グロス容量：40GW）

2020年3月末現在



4 セグメント別データ

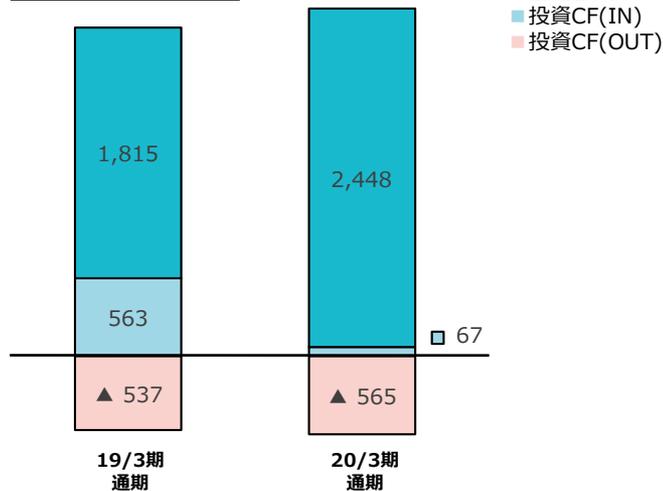
金属資源

鉄鉱石価格上昇を主因にPAT・COCF共に従来予想から上振れ

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	1,672	1,833	+161	1,700	
売上総利益	1,756	2,260	+ 504		↑豪鉄鉱石（販売価格上昇） ↓豪石炭（販売価格下落）
持分法損益	593	592	▲1		↑豪鉄鉱石（販売価格上昇） ↓モザンビーク石炭・インフラ事業減損
受取配当金	209	252	+ 43		↑豪鉄鉱石（配当増）
販管費	▲323	▲416	▲93		↓モザンビーク石炭・インフラ事業減損
その他	▲563	▲855	▲292		↓豪鉄鉱石（法人税負担増）
基礎営業キャッシュ・フロー	1,815	2,448	+633	2,200	
総資産	22,229	19,219	▲3,010		

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
20/3期通期：(OUT)豪州鉄鉱石事業▲340
豪州石炭事業▲184

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	豪州鉄鉱石事業*1	1,067	1,715	+648
	豪州石炭事業*1	485	274	▲211
持分法	モザンビーク石炭及び 鉄道・港湾インフラ事業	41	▲206	▲247
	Oriente Copper Netherlands	▲27	▲57	▲30
	三井物産カッパー・インベストメント	▲23	▲9	+14
	Japan Collahuasi Resources	91	89	▲2
	オールドス電力冶金	51	59	+8

*1. 一部損益は持分法により取込

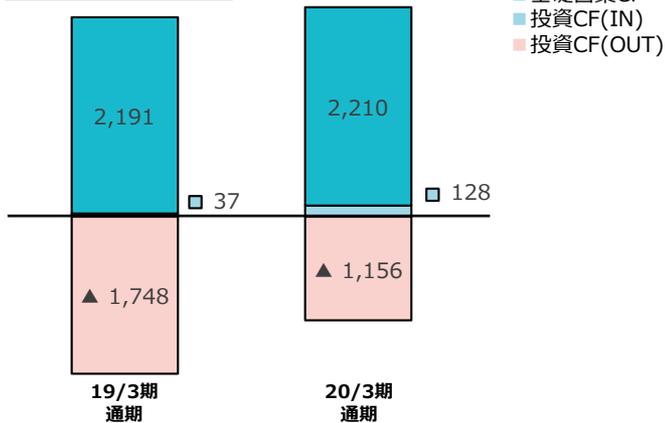
エネルギー

COCFは従来予想を達成するも、PATは原油・ガス事業における減損を主因に未達

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	957	597	▲360	1,150	
売上総利益	1,340	1,415	+75		↑METSTレーディング好調 ↓原油・ガス価格下落、一部コスト増
持分法損益	403	459	+56		↑MEPMOZ繰延税金資産計上 ↓原油・ガス価格下落、為替評価損
受取配当金	652	527	▲125		↓LNG6案件配当減
販管費	▲451	▲434	+17		
その他	▲987	▲1,370	▲383		↓石油・ガス開発関連資産等の減損
基礎営業キャッシュ・フロー	2,191	2,210	+19	2,250	
総資産	24,254	25,492	+1,238		

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件

20/3期通期：(OUT)蒙州石油開発
ロシアArctic LNG2への出資
モザンビーク Area1への出資▲158
タイ沖石油開発

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	三井石油開発*1	248	220	▲28
	Mitsui E&P Australia	▲3	▲142	▲139
	AWE	▲37	▲45	▲8
	Mitsui E&P Middle East	65	37	▲28
	Mitsui E&P USA	82	50	▲32
	MEP Texas Holdings	▲30	▲177	▲147
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	8	72	+64
	持分法	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲32	112
Japan Australia LNG (MIMI)*2		-	-	-

*1. 一部損益は持分法により取込 *2. 守秘義務契約により業績非開示

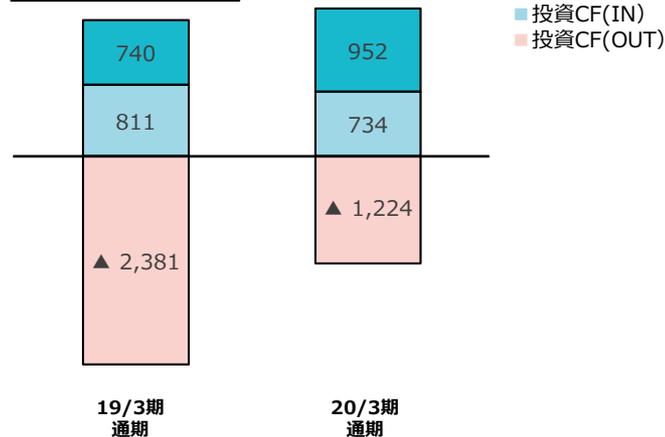
機械・インフラ

COCFは従来予想を達成するも、PATは海外鉄道事業及びオフショア支援船事業の減損を主因に未達

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	784	875	+91	950	
売上総利益	1,307	1,342	+35		↑尼Bussan Auto Financeで二輪・四輪等の売上高増
持分法損益	875	877	+2		↑(前期)海外鉄道事業損失 ↓FPSO/FSOリース事業会社で減益
受取配当金	58	51	▲7		
販管費	▲1,234	▲1,344	▲110		↓尼Bussan Auto Financeで償却関係経費増加
その他	▲222	▲51	+171		↑北米発電事業の売却益計上
基礎営業キャッシュ・フロー	740	952	+212	950	↑プロジェクト開発報酬
総資産	24,506	23,771	▲735		

キャッシュ・フロー



主な投融资/リサイクル案件

20/3期通期：(IN)カナダC2C風力・太陽光発電事業の売却+168
(OUT)中東IPP事業向け融資▲178
米国分散発電事業▲177

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	三井物産プラントシステム	26	36	+10
	鉄道車輛リース事業会社*1	33	28	▲5
	産機・建機関連事業*1	71	60	▲11
持分法	IPP事業関連会社	267	276	+9
	FPSO/FSOリース事業関連会社	93	39	▲54
	ガス配給事業	65	113	+48
	Penske Automotive Group	82	77	▲5
	トラックリース・レンタル事業会社	71	90	+19
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	72	72	0
	VLI	27	▲10	▲37

*1. 一部損益は持分法により取込

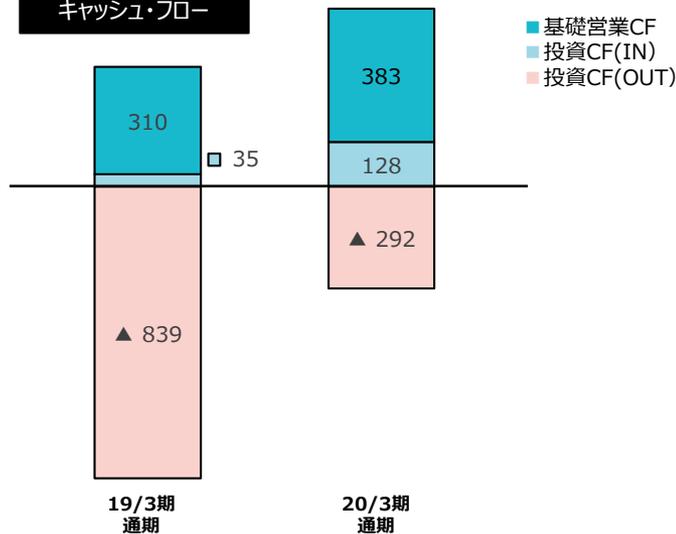
化学品

PAT・COCFとも従来予想通り

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	52	223	+171	200	
売上総利益	1,480	1,168	▲312		↓メタノール・メチオニン価格低迷 ↓米国ターミナル事業事故の影響
持分法損益	143	115	▲28		
受取配当金	28	27	▲1		
販管費	▲1,050	▲1,019	+31		
その他	▲549	▲68	+481		↑北米事業にて保険金計上 ↑(前期)米国ターミナル事業 ↑(前期)Novus増設プロジェクト見直し
基礎営業キャッシュ・フロー	310	383	+73	400	
総資産	13,377	12,177	▲1,200		

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
20/3期通期：－

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	MMTX	72	16	▲56
	三井物産プラスチック	38	34	▲4
	Novus International	▲93	▲22	+71
	Mitsui AgriScience(欧米)	13	24	+11
持分法	日本アラビアメタノール	28	13	▲15

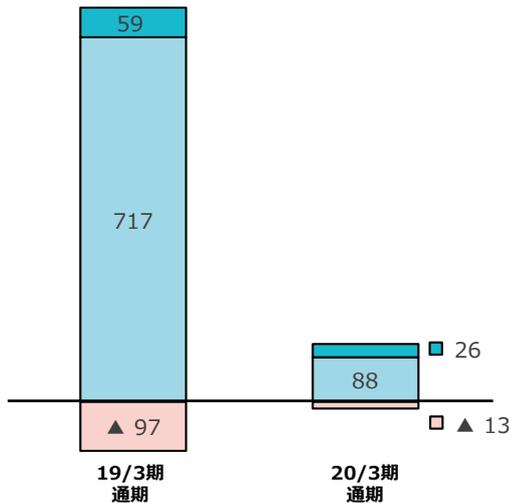
鉄鋼製品

PAT・COCFとも概ね従来予想通り

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	99	47	▲52	50	
売上総利益	272	246	▲26		
持分法損益	162	131	▲31		
受取配当金	17	19	+2		
販管費	▲278	▲272	+6		
その他	▲74	▲77	▲3		↓(前期)関係会社の土地売却
基礎営業キャッシュ・フロー	59	26	▲33	50	
総資産	6,066	5,396	▲670		

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
20/3期通期：-

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	三井物産スチール	41	38	▲3
	日鉄物産*1	69	-	-
持分法	Game Changer Holdings	39	14	▲25
	Gestamp事業会社	23	24	+1

*1. 上場会社の決算発表前により業績非開示

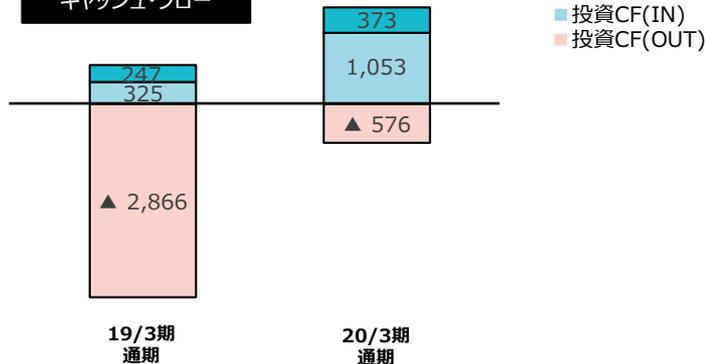
生活産業

PAT・COCFとも従来予想通り

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	363	320	▲43	300	
売上総利益	1,418	1,349	▲69		↓FVTPL評価損
持分法損益	264	350	+86		↑コロンビアアジア持分売却益 ↑IHH追加出資に伴う取込増
受取配当金	51	42	▲9		
販管費	▲1,367	▲1,393	▲26		
その他	▲3	▲28	▲25		↑リクルート株式の一部売却による法人所得税の負担減 ↑総合メディカル株式売却益 ↓(前期)マルチグレイン撤退に係る引当金取崩益 ↓(前期)IHHみなし売却益 ↓XINGU固定資産減損
基礎営業キャッシュ・フロー	247	373	+126	300	
総資産	20,061	19,076	▲985		

キャッシュ・フロー



主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	国内流通関連事業会社	53	44	▲9
	三井製糖*1	21	-	-
持分法	WILSEY FOODS	33	39	+6
	IHH Healthcare	19	49	+30
	PHCホールディングス*1	-	-	-
	エームサービス	24	24	0

*1. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

主な投融资/リサイクル案件

20/3期通期：(IN)リクルート株式の一部売却+448
 コロンビアアジアの売却+238
 総合メディカルホールディングスの売却+195
 (OUT)ベトナム海老生産加工事業会社への出資▲169
 タイ製糖事業▲130

次世代・機能推進

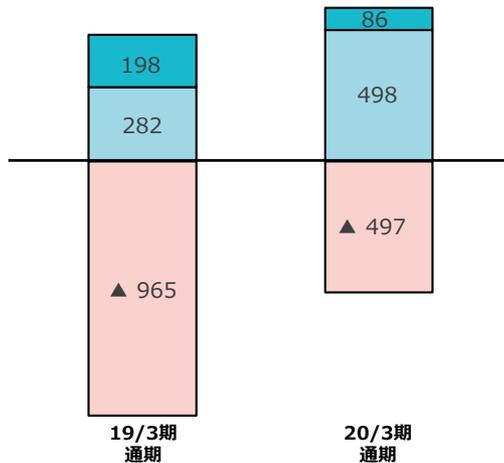
FVTPL評価損により、PAT・COCFとも従来予想未達

(単位：億円)

業績	19/3期 通期	20/3期 通期	増減	20/3期通期 従来予想	主な増減理由
当期利益	220	146	▲74	250	
売上総利益	786	601	▲185		↓FVTPL評価損
持分法損益	131	170	+39		
受取配当金	31	33	+2		
販管費	▲645	▲645	0		
その他	▲83	▲13	+70		↑星国不動産事業の持分売却益 ↑保有株式のプットオプションに関わるデリバティブ評価益 ↓(前期)国内倉庫売却益
基礎営業キャッシュ・フロー	198	86	▲112	200	
総資産	9,718	11,983	+2,265		

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件

20/3期通期：(IN)中国物流施設開発事業の売却+183

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 通期	20/3期 通期	増減
連結	三井情報	35	42	+7
	三井物産グローバルロジスティクス	23	29	+6
	Mitsui Bussan Commodities	29	20	▲9
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	19	19	0
	三井物産都市開発	26	15	▲11
持分法	QVC ジャパン	53	54	+1
	JA三井リース	38	39	+1
	SABRE INVESTMENTS*1	-	-	-

*1. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

360° business innovation.



MITSUI & CO.